

今日のわだい

- [1面] 東日本大震災—その時 6月に女性集会を開催
- [2面] 全国各地から医療支援
- [3面] 新人さんへ労働組合とは



全 国 労働組合連合会
厚生連
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月 20日
定 価 30円



がれきの山と化した南相馬市

東日本大震災— 医療現場を支える労働者

3月11日に起こった東日本大震災から、一ヶ月余り。最大震度7の巨大地震に加え、大津波、そして未だ収束の見えない福島原発事故、それに伴う風評被害など、被災地は三重・四重の苦難を受けています。

死者は分かっただけでも1万3千人（4月10日現在）を越え、行方不明合わせて3万人近く、避難している人も15万人余とされていますが、まだ被害の全容もつかめていません。
まだ震度6程度の余震も起こっており、福島原発事故とともに復旧の足かせとなっています。

仲間は最後まで助ける 医療機関の使命を持って 福厚労

県内に6病院がある福島県厚生連では、地震による建物の大きな被害（一部損壊あり）はなかったものの福島市にある厚生連本部の建物の損壊が激しく一時機能停止状態で、全体の状況がつかめない状態でした。
労組では地震発生後、いち早く災害対策本部を作り、厚生連とも一体となって対策を行ってきました。職員・患者の被災状況把握、

大震災—その時わたしは

松崎 純子（福厚労双葉分会長）

3月11日14時46分
この日はリーダーだったが、病棟も落ち着いており「今日は17時で帰れるかな」と思いながら、3病棟浴室で入浴介助外回り中だった。最初はゆっくりとした揺れ。5病棟に繋がる渡り廊下の防災扉を押さえていたが、大きな揺れとなって、すぐ自分の立っていた渡り廊下と3病棟の接続部が落下し、3階から1階まで穴



避難所を訪れる折笠さんと松崎さん（左）

物資の支援、避難後の意向、雇用に関わっての協議など山積する課題をこなしています。
福島原発から3キロしか離れていない双葉厚生病院では、避難勧告が出され、地震発生当初から、大きな混乱が続きました（福厚労双葉分会長・松崎純子さんの手記を参照）。
僅かに30キロ圏外にある鹿島厚生病院でも、20〜30

大きな揺れは続いていたが、①独歩②護送③担送の順で非常階段から外に避難させた。（この時つくづく非常時こそ非常用出口はスロープじゃないとだめだなと感じた）
ひどい揺れの中の作業であり、職員も悲鳴を上げながらの避難だったのだが、人工呼吸器・BIPAP装着の患者さん2名を、アンビューバックで避難した。外に避難したところから「津波が来るから精神科2階に避難して」と言われ、

（2面へ続く）

全厚労 第34回女性集会 in東京

いまだからこそ平和で人間らしく生きることのできる社会について考えよう

日時 2011年6月10日(金) 13時半
～11日(土) 正午

場所 浅草・台東区民館

宿泊 浅草ビューホテル

参加費 23,000円(1泊2食+参加費)

主な企画

記念講演

小森陽一さん（東京大学教授・九条の会事務局長）
日本国憲法と私たちのいま・未来（仮題）

体験学習

東京大空襲の爪痕をフィールドワーク
戦争体験者のお話など…



634mとなった東京スカイツリー（全厚労本部より）

へ1面から続く

患者さんを移動した。

その途中「妊婦さんが精神科の屋上にいるからK医師を屋上に連れてって」と師長より指示があり、OPP着姿のK医師を屋上に誘導した。(地震時、帝王切開の途中であり、一人出産出来たこと。のちにその子はスタッフから勝手に「津波ちゃん」と呼ばれていた。)屋上に上がって少したってからK医師が「あれが津波だったら大変だ」と言ったので海の方を見ると、水平線と近くの丘が一直線になっており、水平線は水しぶきを上げながら、あつという間に病院の近くまで水が上がってきた。少したつと救急車の音が何回も聞こえてきた。外来スタッフは溺水した患者さんの対応におわれていた。

3月11日夕方

独歩の患者さんは精神科の1階に、護送・担送の患者さんは精神科の2階にほぼ避難できたところで、県立大野病院に向向に行っていたスタッフが次々と戻ってきてくれた。それですつとアンビューを押ししていた2名の患者さんのために人工呼吸器やBIPAPを病棟から運び込み装着できた。また必要物品・栄養剤も取りに行き、患者さんの観察や栄養管理を始めた。自分で食事ができる患者さん・家族・職員は隣の老健施設による炊き出しのおにぎりが出た。また当院の

調理師さんたちが乾パンやおかゆなどの保存食を準備してくれていた。その後、勤務の割り振り

がされた。道路は隆起や陥没がひどく車で帰るのは困難との情報があり、家までの距離がある人を中心に夜勤を行う事になった。歩いてすぐ病院に来れる人は1度自宅に帰り、次の日の朝早めに病院に来るよう指示があり、私は1度帰宅した。その時、第1原発から半径2キロ圏内の住民に避難指示となっていた。(当院は半径約3キロ)

3月12日朝

家の中も素足では歩けず、居場所もない状態で、余震も続いていたため睡眠もとれずに朝になってしまった。テレビを見ると第1原発から半径3キロ圏内避難命令となっていた。きつと病院も避難しなければいけないと思い、とりあえず必要なものを手に取り、早めに出た。病院では事務の方が避難の手配をしていたが、病棟では夜勤者が朝のおむつ交換・朝の食事はすませてあり、回診・点滴などの業務に入るよう指示が出た。(避難の準備は大丈夫なのかと疑問に感じたが、忙しくなり検討する時間はなかった)

時々外を見ると自衛隊・警察の姿が見えた。警察の人は防護服だった。ヘリの音も聞こえた。その頃、東電第1号機から放射性物質を含んだ水蒸気を出すとい

う事で、屋内退避となつた。その後、バス2台が到着した。独歩・

護送の患者さんの避難がはじまり、1台目のバスは病院全体で川俣に避難する事を伝え、出てもらったようだ。精神科の患者さんが多く乗っていた。しかし職員は乗車せず、その後連絡が取れなくなつた。2台目のバスは担送の患者さんを除いた精神科の患者さんが全員乗車。一般科の患者さんも数名乗車した。この時、精神科のスタッフはK主任のみ病院に残り、その他のスタッフも全員バスやマイカーで川俣に避難してしまつた。

残つたスタッフには看護部長さんより「残つた人は病院から出られる手段がない。ここに残ることになります」と話があった。思うところは多々あったが、引き続き業務を続けた。

途中、再度3病棟主任より集合をかけられ「原発が最悪の場合チェルノブイリの様な状態になる。避難するかここに居るかの選択が必要になる。」と話があった。スタッフの中で「なんでそんな選択を私たちにさせるのか」「早く避難したい」「帰して下さい」「せめて若い人は帰してあげましょう」など今までの思いが出てきたようだった。私は避難患者さんの放置となるため、とても答えが出なかつた。

話し合いの最中F医師が



対策本部を訪れた松崎分会長(右)と山田中執

「自衛隊のヘリが来る。担送の患者さんを乗せるぞ。早く！」と病棟に来た。男性看護師はK主任以外2台目のバスで避難していたが、技術・調理師・医師・事務職員が手伝ってくれた。

まず自衛隊の車で双葉高校へ行き、そこからヘリが出るとのこと。私は避難先でも車が必要になると思つて、自分の車で移動したかったが、師長より「患者さんの管理を頼む、私たちも必ずあとから行くから」と指示があり、患者さんと一緒に自衛隊の車に乗つた。

双葉高校に着いて、待機のために屋内に患者さんを移動していた。ほどなくして見えたヘリが自衛隊のそれではなく、マスコミのヘリはほんとに薄情だと思つていた。その時、「ドーン」と大きな音とともに体に衝撃を受けた。立っていたところから1〜2歩後ろに下がってしまったほどの衝撃だった。「間に合わなかつた。」と思つた。(つづく)

(注: 個人名や長文のため一部編集を行っています)

全国各地から医療支援へ

全国の厚生連病院からも医療支援が行われています。地震当初より、新潟、秋田、長野などよりDMATチームが派遣され、岩手、宮城、福島で活動したのを始め、その後も、各都道府県からの要請で、各病院よりDMATの出動、医療救護班の派遣、また厚労省の要請によるメンタルケアチームの派遣など、被災地の状況に応じて、様々な医療支援が行われています。

宮城県石巻市へ2度、支援に入った愛知県厚生連労組の長谷川さんに手記を寄せていただきました。

宮城・石巻日赤へ DMAT・救護班にて活動

石巻圏合同救護チーム・安城更生病院DMATチーム業務調整員 長谷川雅敏(愛厚労書記次長)

東日本大震災により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げます。一度目は震災直後の3月11日、14日の4日間、日本DMAT隊員として、二度目は3月25日、30日までの6日間石巻圏合同救護チームとして活動させていただきました。

平成23年4月8日現在



山形県立中央病院へ患者をヘリ搬送

地震発生時には偶然にも愛知から遠く800キロ離れた石巻赤十字病院を当院職員4名(内1人はDMAT隊員)が見学中でした。4名とは地震直後に一度だけ電話が通じ無事が確認できたものの、その後の津波被害

により携帯電話をはじめすべての通信機器が不通となり、13日に合流するまでの長時間安否の確認が出来ず大変心配しておりました。

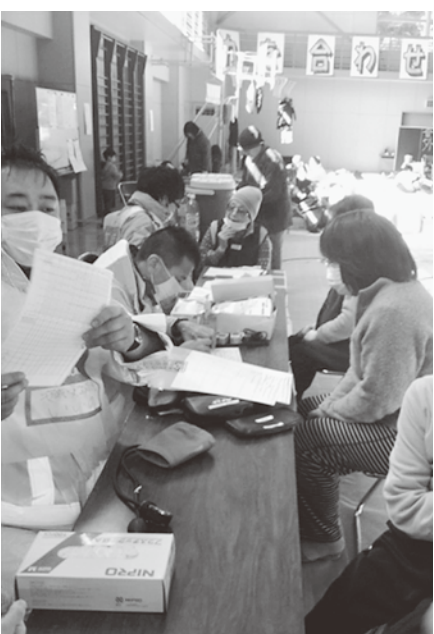
石巻赤十字病院の職員の方々は自分の家族の安否確認もままならない大変な状況にもかかわらず、4名に貴重な食事や寝具寝室を提供して下さり、不安な気持ちを紛らわすため、やさしく声かけまでしていただくなどほんとうに温かくもなしてくださりました。

DMATの任務が終了した3月14日に一旦愛知に戻りましたが、数日後状況を確認したところ救護チームが不足しているとの情報を得たため、お世話になった恩返しと感謝の気持ちを伝え少しでも役に立てればと再度26日に石巻赤十字病院へ到着し石巻圏合同医療チームの一員として活動を再開しました。はじめに石巻市沿岸部の壊滅的被害状況

を自分の目で確認し、住民たちの大切な人、大切なものを一瞬で破壊する津波の恐怖を目の当たりにしました。その後は病院支援活動・避難所巡回診療・ヘリ搬送などを担当させていただきました。

現在も医療救護チームに限らず多くの国民が支援に懸命に取り組んでいることと思えます。私たちも遠く離れた愛知からではありませんが、自分たちにこれから何が出来るのかもつとつとよく考えて被災者の皆さんを応援していきたいと思

います。そして最後に石巻圏合同救護チームの皆様の健康と更なるご活躍を心より祈念申し上げます。



避難所を廻って診察行う



地震発生時から連絡の取れなかったDMAT隊員と再会

労働者同士の助け合いの組織 労働組合ってこんなところ



労働組合とはどんなところ?

- 労働者ならだれでも入れる
雇われて働き賃金を受け取る人＝労働者であれば正規雇用でも、パート雇用でも、どんな宗教を信じていても入れることができます。
- みんなで話し合っ要求を決め、一致団結してたたかう
自分たちの職場で不満に思っている事や困っている事を出し合っ、要求としてまとめて実現するために活動しています。
- 使用者と対等な立場で話し合う
労働者は一人ひとりでは労働者を雇って働かせる人＝使用者に太刀打ちできませんが労働組合であれば使用者は話し合いに応じる義務があります。
- 組合員は誰でも意見を表明でき、何かを決める時も平等
どんな要求をするか、どんなたたかい方をするか労働組合では組合員の意見を持ち寄っっしっかり話し合い、時には投票をして決めています。

労働組合はなにをするの?

- 労働者の健康と生活を守る
私たちはみな健康で文化的な生活を営む権利＝生存権（憲法25条）を持っています。やりがいを持って働き、趣味やスポーツも楽しめるような労働条件を求めています。
- みんなで力を合わせて労働条件を変える
一人で声をあげてもなかなか通らない事でも、みんなの声を束ねて力を合わせることでより良い労働条件を勝ち取ることができます。
- 労働者の権利と雇用を守る
生休・有休取得や残業代の請求など労働者の当たり前の権利をキチンと行使できる環境を作り、働き続けられる職場にしています。
- 患者さん・地域住民のために
労働組合として使用者と交渉するだけでなく、患者さんや地域住民の方々が利用しやすい病院・施設にするために制度改善を求めて行政や議員に働きかけを行っています。

全厚労 107病院
約29,500名の組合員
全国の厚生連病院で
働く仲間の労働組合

医労連 47都道府県
すべてで約17万人
日本唯一の医療・介護
労働者の産業別労働組合

楽しくなくちゃ
労働組合
じゃない!!!

全厚労青年交流集会
K's station
(2010年三重)

日本医労連青年
交流集会
アクトインサマー
(2009年山梨)

**大災害でも連携して
地域医療を守った**

**新潟
中越地震
(2004年)**

2004年10月、新潟県中越地震が発生しました。労働組合では1995年に起きた阪神淡路大震災を教訓に、各病院に無線機と取り扱い者を配置するなど設備面でも整備を行い、防災訓練など強化を行っていました。電話が機能しない中、被災状況や患者搬入などの情報交換に大きな力を発揮しました。

もっとも被害の大きい中条第二病院では病棟外壁が崩れ、自力で再建することは困難な状況でした。労働組合として11月には県や国へ都市部を念頭に作られた「災害時復旧補助の基準」を広げるよう、要請を行いました。繰り返し挑んだ厚労省との交渉で「公的病院にも公立病院同様の3分の2の補助を適用する」と回答が出され、復旧への大きな一歩になりました。

(栃尾郷病院)
患者さんを1階に避難させ、廊下が病室になった

こんな時にこそ 労働組合

**給食の外部委託化を
阻止しました**

**大分
(2008年)**

2月に「次年度計画において全面委託」と告げられ「このまま働き続けたい」と取り組み開始。交渉の状況や気持ちなどのピラを配ると職員の皆さんから励ましやアドバイスが次々に。雇用継続と委託反対の署名を集めて交渉を重ね、7月に会側から委託撤回と謝罪がありました。

**一緒に働いていた
職員の正規職員化**

**福島
(2009年)**

福厚労では2009年春闘で臨時職員29名の正職員化が実現しました。正職員と働き方は変わらないのに賃金や労働条件に格差があり、それでも「いつかは正職員に」という思いで1年雇用を継続してきた方も多く、10年ほど前から要求に掲げて粘り強く訴えてきたことが実りました。

**病院の危機にも地域
住民と力を合わせて**

**秋田
(2010年)**

2009年末に厚生連の経営改善計画に「湖東病院は廃止が最も有力」と記されている事が報道されました。これに対し住民とともに住民の会を結成。県交渉や署名などに取り組み、病院改築案を復活することができました。現在は医師確保に向け具体案を作り、力を合わせて存続に向けて取り組んでいます。

帰って来た 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第50回は長野・三重にお願いをしました。



長野 番場 靖さん

長厚からは、鹿教湯三才山リハセンター支部の若手作業療法士の番場靖さんを紹介いたします。
鹿教湯三才山リハセンター支部では主にリハビリ中心の患者さんが入院しております。その中で番場さんは回復期リハ棟にあり、2年目という未だ若手の存在として活躍されております。
趣味はお酒を飲んだり友人と盛り上がること・スノーボード・ケツメイライブほか多趣味ということで明るい存在が写真からも紙面からも受け取れる方です。
組合活動では青年部に一目を置かれており、次期青年部長としても期待されている存在です。
こんな明るい番場さんですが、朝早く出勤し、夜は家に帰っても勉強の毎日という真面目な一面もあり…あと野球もやっているそうです。
期待の2年目ルーキーを紹介しました。

皆さん、よく御存じの我が三厚労中央執行委員長の伊藤岩吉さんです。全厚労では「とらきち〜」の方が馴染みがあるかもしれません。
この3月に定年退職を迎えられ、3/18に執行委員で還暦のお祝い会をし、とても盛り上りました。三厚労誰もが心配しましたが雇用延長で引き続き書記局で専従をして頂きます。
組合員から「岩吉さん、岩吉さん」と父親のように慕われ、自分のことよりも先ずは人の事を優先の人です。組合員からは「伊藤さんのような人になりたい」という声も沢山あります。
プライベートでは、先日から2人目、3人目の孫が次々に生まれ、上の子のお世話を悪戦苦闘しながらも奥さんと一緒に楽しくしてみえます。
「三厚労の父 伊藤さん これからも頑張ってください！」



三重 伊藤岩吉さん



医労連 組合だからこそ あなたもどうぞ

私たちの組合では病気やまさか！の事故に備えてみんなで支え合う共済の制度を持っています。

医労連共済の特徴

- 助け合いの制度だから掛金が安い
お金儲けを目的としない助け合い運動だから安い掛金で大きな保障ができます。
- 掛金の70%を給付に。余れば還元
組合員の利益を第一に剰余が出たら加入者に還元しています。
- 保障内容がシンプルで分かりやすい
ライフスタイルに合わせてプランを組み立てることができます。

独身の方なら 選んで掛けれる豊富なプラン シンプルなセット7型(月800円) もう1セレクト

手頃な掛け金型	しっかり保障型
1400円/月 (セット7型+医療共済6口)	2400円/月 (セット7型+医療共済16口)
入院(1~180日) 5,000円/日	入院(1~180日) 10,000円/日
休業(1~90日)* 2,500円/日	休業(1~90日)* 5,000円/日
死亡時 100万円	死亡時 100万円
*連続5日以上休業のとき 1日目から保障	

- 当選者10名様に図書カードを差し上げます
クロスワードパズルの答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。(2月号の答え：フクハウチ)
- ヨコのカギ
- おむすびとも言う
 - ノルウェーの首都
 - やわらかいご飯
 - 今年は飛散量が多いとか。花粉症といえば…
 - 豚の脂肪からとった油
 - 眠っているときに見る
 - 「西洋」の反対語
 - 尺貫法で長さの単位。1……は約3センチ
 - 天に任せる人もいる
 - 元素記号は「Co」
 - まとめてくくったもの
 - 上下そろいの衣服
 - 野球でボールの反対語
 - 円周……は3.14
 - ラグビーで相手ゴールにボールをつけること
 - 心に浮かんだ形・映像
- 24 23 21 19 18 16 15 14 11 9 6 5 4 3 2 1
- 出る……は打たれる
- タテのカギ
- うのはなとも言う
 - 万有引力を発見した人
 - 森の小動物といえは…
 - ひよつとこと対のお面
 - 綿・羊毛の代用繊維
 - イギリスの首都
 - ウシとウマ。……のこと
 - とく働く過酷な労働
 - 金・銀……メダル
 - 横に動く。カニの……
 - 物語。映画などの筋
 - 腰。胴まわり
 - 居……。……番電話
 - 物を洗う平たいおけ
 - 春から夏に赤・白・紫
 - などの花が咲く低木
 - 丑の次、卯の前

ザ・クロスワード

出題 ● モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7		8	9		10
11		12			13
14		15			16
17		18			19
20		21			22
23		24			25
26		27			28

【問題】二重ワクの文字を、A~Gの順に並べてできる言葉は、なに？

読者の声

新潟医療センターの記事興味深く拝見しました。厚生連の一員となり、労働組合も本格的な活動が始まったようですね。色々大変な事もあると思いますが盛り上がりつつあるといいですね。と思います。(福島)

韓国医療視察の記事と同じく私のモットーも「仕事は忙しくても楽しく」です。現状は厳しいですが若いスタッフが生かされるようにサポートしたいものです。(秋田)

新潟医療センターが厚生連に移譲されたニュースは全厚労二重ワクの記事で始めて知りました。頑張ってくださいなあと思っています。(静岡)

JALの「整理解雇」について読みました。人件費をカットして再生を目指すよりも、もっと他の無駄な部分を見直す必要があったのでは…と感じました。これは自分達も含めどこの企業にとっても同じ事。働くスタッフがいてこそ現場なのではないでしょうか。(秋田)

写真もたくさん載っていて見応えがあります。読者の声は楽しく読ませてもらっています。(新潟)

2月5日~6日の西日本ブロック春闘討論集会に行ってきました。組合員それぞれ集会が集まると頑張っているなあと思つてく感じます。懇親会がやはり一番楽しかったのですが、何かと勉強になりました。やはり出ていかないとわからんなあと思いました。(徳島)

労基法クイズをいつも楽しく読んでいます。せつかくある権利も知らなければ使えません。勉強になります。(富山)